

# MINI DISCLOSURE

京都銀行からみなさまへ

## 2021年3月 決算のご報告

### ごあいさつ



みなさまには、平素より京都銀行をお引き立ていただき、まことにありがとうございます。

さて、2020年度のが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響で記録的落ち込みからスタートし、財政・金融政策の総動員による下支えもあり緩やかに回復しましたが、一年を通じて感染収束の見通しが立たず厳しい状況が続きました。この間、巣ごもり需要や消費喚起策の効果で一部の個人消費が増加したほか、世界経済の回復に伴い輸出が堅調に推移しました。また雇用・所得環境の悪化は、政策効果で抑制されました。しかし後半は、企業業績の二極化が次第に浮き彫りになる中、感染再拡大や米中摩擦の影響が懸念されるなど、先行き不透明感が増す中で期を終えることとなりました。

このような社会・経済環境の中で、地域金融機関には、コロナ禍で影響を受ける企業への資金繰り支援はもとより、コロナ禍で大きく変化した人々の行動様式への対応、あるいは社会的要請ともいえるSDGsにかかる取り組みなど、企業が

事業を継続するうえでの経営諸課題へのサポートも求められています。

こうした中であって、当行では、昨年4月にスタートした第7次中期経営計画「Phase Change 2020」(3か年)の2年目を迎えております。当計画では、金融のみならず幅広い方面から解決に導く総合金融ソリューション業への事業領域拡大やデジタルサービスの拡充を進めており、ウィズコロナの新しい社会における地域金融機関としての役割をしっかりと果たしてまいりたいと考えています。

京都銀行グループでは、新型コロナウイルスで影響を受ける地域経済の回復に向けて全力で取り組んでまいりますとともに、サステナビリティ経営を「経営理念のより一層高いレベルでの実践」として地域の社会的課題や環境問題の解決に取り組むなど「持続可能な社会の実現」に向けての社会的責任を全うして、企業価値の向上を図ってまいります。

みなさまにおかれましては、今後とも格別のご支援、ご愛顧を賜りますよう心からお願い申し上げます。

2021年6月

取締役頭取 土井 伸宏

## 第7次中期経営計画「Phase Change 2020」(2020年度～2022年度)

### ■メインテーマ

- ◆事業領域を銀行業から総合金融ソリューション業へ
- ◆対面サービスとデジタルサービスのベストミックス
- ◆従業員が成長し活躍できる更に充実した環境の整備
- ◆専門人材・多様な人材の育成・確保

### ■主要計画計数 (計画最終年度、自己資本比率のみ計画期間中)

親会社株主に帰属する当期純利益	200億円
実質ROE(株主資本ベース)	4%以上
OHR	60%台
自己資本比率	10%以上

### ■株主還元

配当性向	安定配当を基本としつつ配当性向30%を目安とする(これまでの25%より5%引き上げる)
------	---

## トピックス (2020年10月～2021年3月)

### 地域経済の活性化

#### ●京都市と「SDGsの推進に関する連携協定」を締結

2021年3月、SDGsの推進に関する継続的な連携により、地域資源を有効に活用し、地域の持続的な成長・活性化を図ることを目的として、京都市と連携協定を締結しました。

当行と京都市は、以前から京都経済の活性化をはじめさまざまな分野で連携・協働を進めており、今回の提携でさらにSDGsに関する事業での協働などを実施してまいります。



#### ●地域の課題解決に向けたファンドの設立・出資

地域活性化に向けたまちづくりやベンチャービジネスの創出、企業の後継者不足や新型コロナウイルス感染症の影響による事業再構築など、地域社会や地域のお客さまが抱える課題の解決サポートを強化するため、ファンドの設立や出資をおこないました。

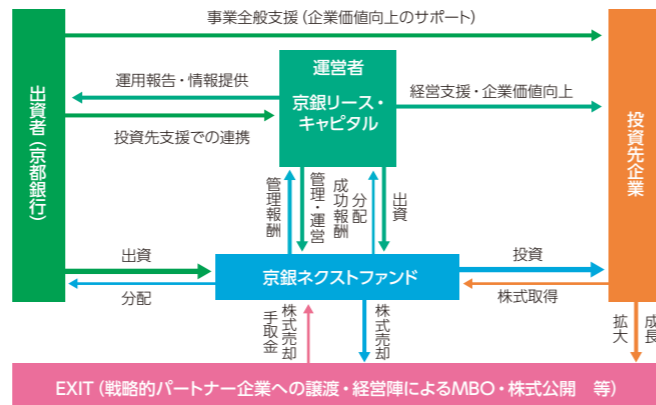
##### 〈設立・出資ファンド一覧〉

年月	ファンド名	年月	ファンド名
2021.1	京銀まちづくりファンド	2021.3	京銀ネクストファンド
2021.3	地域づくり京ファンド		

##### 〈大学発ベンチャー支援〉

2021.1	OUVC2号ファンド イノベーション京都2021ファンド
--------	---------------------------------

##### 〈京銀ネクストファンドのスキームイメージ〉



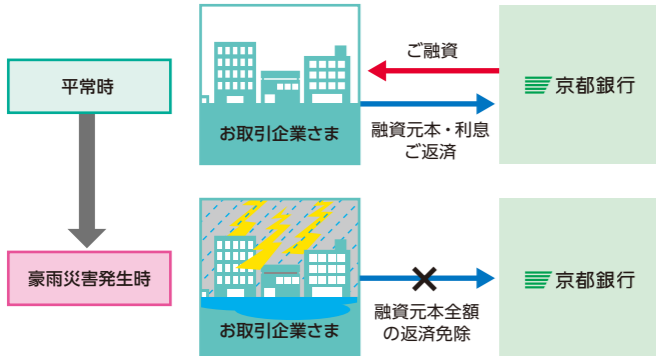
#### ●「ESGファンド」の取り扱いを開始

2021年1月、地域への寄付スキームを活用した投資信託を、関西の金融機関で初めて取り扱いを開始しました。本商品を通じ、お客さまのESG投資を促進し、地域経済の持続的発展に取り組んでまいります。

#### ●「豪雨災害時元本免除特約付き融資」の取り扱いを開始

2020年11月、あらかじめ指定した観測地点において一定以上の豪雨が観測された場合、借入金の元本全額が返済免除となる特約付き融資を関西の地域金融機関で初めて取り扱いを開始しました。お客さまの自然災害リスクへの対策や事業継続計画(BCP)の一環としてご利用いただくことができます。

##### 〈本融資のイメージ〉

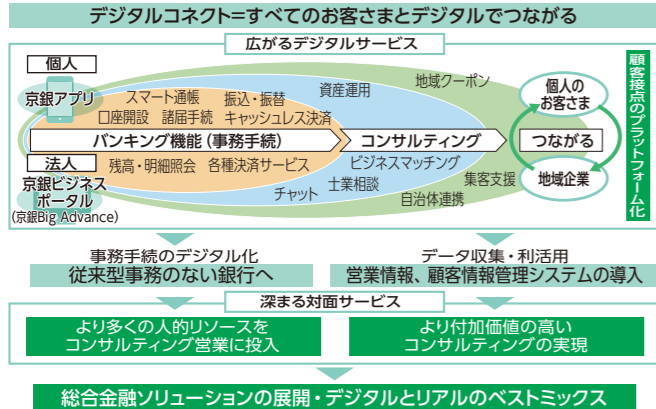


### 安心・安全・便利な金融サービス

#### ●「京銀ビジネスポータルサイト」の運用を開始

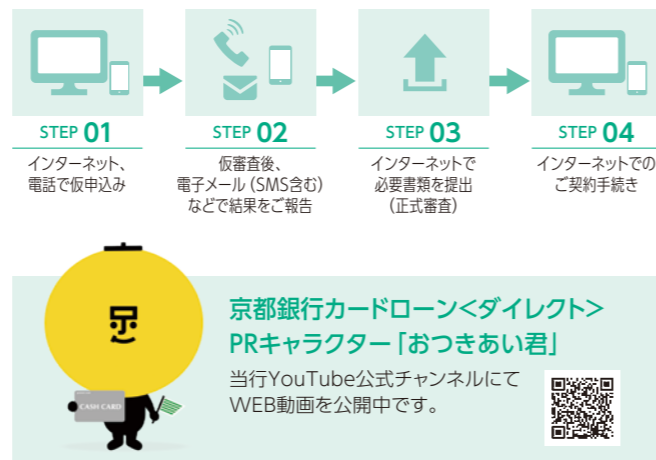
2020年12月、「デジタルコネクト(すべてのお客さまとデジタルでつながる)」の実現に向けた事業者向けサービス「京銀ビジネスポータルサイト」の運用を開始しました。

##### 〈デジタルコネクトのイメージ〉



#### ●ネット完結型商品「京都銀行カードローン<ダイレクト>」の取り扱いを開始

2020年10月、お申込みからご契約までのお手続きをWEB上で完結できる商品として取り扱いを開始しました。



### 新型コロナウイルス感染症による影響へのさまざまな取り組み

#### ●「京都銀行WEBセミナー」による情報提供の取り組み

これまでの対面集合形式が主体のセミナーに代えて、ご自宅等どこからでもご参加いただける「京都銀行WEBセミナー」を開催しております。お客さまには、より一層便利に安心してご参加いただけるよう取り組んでおります。

資産運用などさまざまなテーマで開催しておりますので、当行HPよりお気軽にお申込みください。

##### 〈開催実績(2020年度下期)〉

開催回数	15回
申込者数	約1,600名



お申込みはこちら

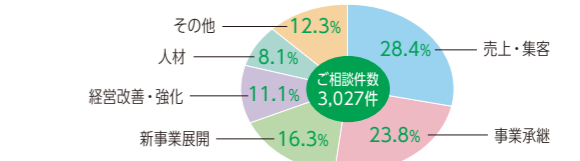


#### ●「コロナサポートチーム」などによるお客さま支援

資金決済や事業資金の支援にとどまらず、本部横断組織「コロナサポートチーム」などによる、ウィズコロナ社会を見据えたお客さまの本業支援などにも取り組んでおります。

##### 〈新型コロナウイルス感染症関連の取組実績〉

##### 【コロナサポートチームが対応したお客さまの課題(2020年度)】



##### 【コロナ関連融資(2021年3月末累計)】

融資相談受付	24,678件
融資実行	18,053件 6,573億円

##### 【医療機関の業務継続支援(2020年度)】

京銀SDGs私募債「医療にエール」		
件数	金額	寄付金額
80件	6,650百万円	約852万円

### ■サステナビリティ経営推進のための体制整備

#### ●「サステナビリティ経営推進委員会」の設置

2021年1月、経営課題への対応強化を図るため委員会を設置しました。当行では、地域の社会的課題や環境問題などSDGs/ESGを含むサステナビリティ関連諸課題に対して組織的に取り組むことで、ステークホルダーの期待に応え、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。



〈第1回委員会開催の様子〉

#### ●「持続可能な社会の実現に向けた投融資方針」の策定

2021年1月、SDGsの達成に向けた投融資の方針を策定しました。当行は、石炭火力発電事業などへの投融資を抑制することで「ネガティブな影響の低減・回避」に取り組むとともに、「地域企業の創業・イノベーション創出・成長に向けた支援」や「環境問題の解決に向けた支援」などの「ポジティブな影響の増大・創出」に積極的に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。



方針の詳細はHPをご覧ください。  
京都銀行HP→京都銀行について  
→地域の皆さまとともに  
→持続可能な社会の実現に向けた  
投融資方針



### SDGs(サステナビリティ経営)についての考え方 ～経営理念のより一層高いレベルでの実践～

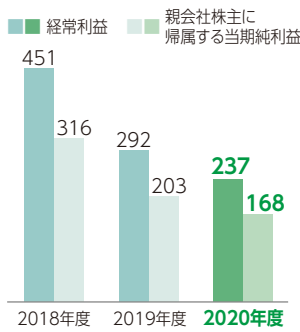
京都銀行グループは、これまでから「地域社会の繁栄に奉仕する」という経営理念に基づいた企業活動をさまざまな形でおこなってまいりました。持続可能な社会を実現するための国際目標「SDGs」達成に向け、我々はこれからも、お客さまとともに、地域の幸せな未来を創るため、地域の社会的課題や環境問題の解決に貢献してまいります。



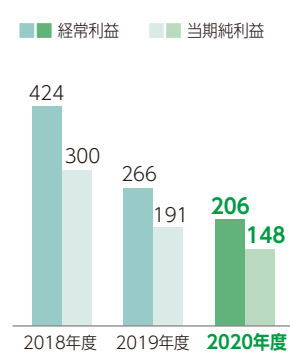
各トピックスには、SDGsの17の目標に該当するアイコンを表示しております。

## 業績ハイライト (単位: 億円)

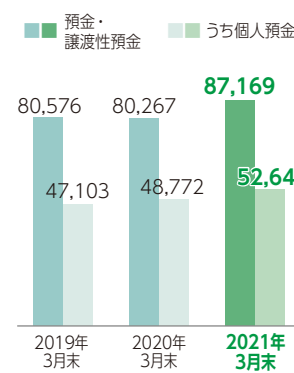
### ● 経常利益・親会社株主に 帰属する当期純利益(連結)



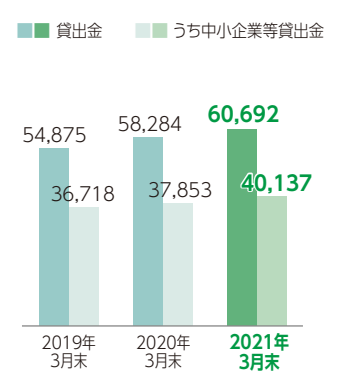
### ● 経常利益・当期純利益(単体)



### ● 預金・譲渡性預金



### ● 貸出金



## 株式の状況・ご案内

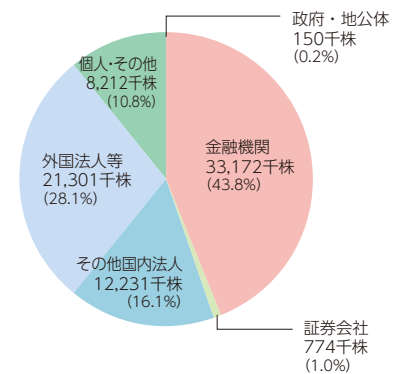
### ■ 株式の状況 (2021年3月31日現在)

● 発行済株式総数 / 75,840千株 ● 株主数 / 8,376名

#### ● 主要株主 (上位10名)

株主名	(持株数: 千株)	(持株比率: %)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,945	6.52
日本生命保険相互会社	3,033	4.00
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2,566	3.38
東京海上日動火災保険株式会社	2,537	3.34
明治安田生命保険相互会社	2,500	3.29
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140051	1,996	2.63
京セラ株式会社	1,596	2.10
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE SILCHESTER INTERNATIONAL INVESTORS INTERNATIONAL VALUE EQUITY TRUST	1,588	2.09
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (退職給付信託口・オムロン株式会社口)	1,528	2.01
住友生命保険相互会社	1,318	1.73

#### ● 株式の分布状況 (所有者別)



### ■ 株式のご案内

#### ● 事業年度

毎年4月1日から翌年3月31日まで

#### ● 剰余金の配当基準日

期末配当 3月31日、中間配当 9月30日

#### ● 定時株主総会

毎年6月(定時株主総会の基準日 3月31日)

#### ● 1単元の株式数

100株

#### ● 公告方法

電子公告

ただし、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞および京都新聞に掲載いたします。

株式事務取扱場所	株主名簿管理人(特別口座管理機関) 三菱UFJ信託銀行株式会社	郵便物送付先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
	同 事務取扱場所 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号	各種お問合せ先 TEL 0120 (094) 777
各種お手続きについて 住所変更、配当金受取方法の指定、変更、単元未満株式の買取請求などのお手続きは次のとおりとなります。		
	一般口座(証券会社の口座)に記載された株式	お取引の証券会社にお問い合わせください。
	特別口座(三菱UFJ信託銀行の口座)に記載された株式	上記の三菱UFJ信託銀行までお問い合わせください。

## 会社概要・グループ会社 (2021年3月31日現在)

### ■ 会社概要

名称	株式会社 京都銀行 / The Bank of Kyoto, Ltd.
本店所在地	京都市下京区烏丸通松原上る薬師前町700番地
創立	1941年(昭和16年)10月
総資産	12兆2,560億円
預金・譲渡性預金	8兆7,169億円
貸出金	6兆692億円
資本金	421億円
格付け	A (R&I) A- (S&P)
従業員数	3,430人
拠点数	192か所
[内訳]	本支店(※) 168・出張所6・ローン営業部8・法人オフィス2・移動店舗車1 海外駐在員事務所4(香港・上海・大連・バンコク)・その他3 (※) 店舗内店舗4・ネットダイレクト支店1・振込専用支店1を含む

### ■ グループ会社

#### ● 連結子会社(7社)

烏丸商事株式会社  
京都信用保証サービス株式会社  
京都クレジットサービス株式会社  
京銀カードサービス株式会社  
京銀リース・キャピタル株式会社  
株式会社京都総合経済研究所  
京銀証券株式会社

#### ● 持分法適用関連会社(1社)

スカイオーシャン・アセットマネジメント株式会社

2021年6月発行

飾らない銀行

**京都銀行**

発行 株式会社京都銀行 経営企画部

〒600-8652 京都市下京区烏丸通松原上る薬師前町700番地  
TEL 075 (361) 2275 <https://www.kyotobank.co.jp/>